



## 学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子  
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ ところと体をきたえ 進んで勉強する子

## 全校朝会(6月18日)での校長の話 ごみを拾うこと

グラウンドに  
おちている  
ごみをひろおう



さりげなく

(略) ところでその大谷選手、打者として一塁に出たときに、グラウンドに落ちているごみを拾ったのです。それもさりげなく。実は大谷選手、グラウンドにごみが落ちていると意識して拾うようにしているのです。なぜだと思いませんか? (略) 大谷選手は、自分よりずっと年上の大選手が率先してごみを拾っているのを見て、感動してまねをすることにしましたのです。大谷選手は、ごみを拾うことを聞かれると「人が捨てた幸運を拾っている」と答えています。ごみを拾うことは、幸運、いい運を拾うことになると考えているのですね。私はこの話を聞いて、なるほどと思いました。ごみを拾うことはいい運をもらうことになり、逆にごみを場所もなくポイポイ捨てるとは、いい運を捨てていることになるのです。ところで皆さんはどうですか? いい運を拾うようにしていますか? 逆にいい運をポイポイ捨てていませんか。仁比山小では、ごみが落ちていたらいい運が落ちていると思って、気がついた人からどんどん拾っていきなあとと思います。みんな、これからも、ごみのないきれいな学校にしていきたいと思います。



「ほくは  
他人が  
ポイ捨てた  
運を  
ひろっている  
んです。」



チームが勝てるように、いろいろなところの  
ごみ拾いをしてきた。  
ひとのために、いいことをしたから、勝利の  
神様も味方になってくれたと思う。

ひと言・・・「ごみ拾いは運気を上げる」と言われるようですが、大谷選手も運を味方につけるためにも日々のごみ拾いを大切にしようと考えたようですね。私は、改めて、大谷選手の凄さと、大切なのは日々の習慣なんだと気づかされました。

## 不審者避難訓練(6月28日)

不審者侵入時に、子どもたちが安全な避難の仕方を知り、引率者の指示に従いすばやく行動することができるように「不審者避難訓練」を行いました。この避難訓練では、教職員の的確な対応ができるように、神埼警察署の方に不審者役をしていただきました。また、講話の中では、駐在所の佐々木様より、不審者遭遇時における対処の仕方も指導して頂きました。「まさか」という時、どのように自分の命を守るか、日頃から訓練しておくことは必要です。ご家庭でも「まさか・・・」「もしも・・・」の時、と想定し、どのように命を守るのか話題にして話し合ってください。

お願い \*児童の安全・安心のために以下の点についてご協力をお願いします。

- 1, 児童の送迎は「保護者用駐車場(保護者P)」を利用してください。
- 2, 児童玄関の開錠は7:30にします。また、児童が登校後、戸を閉めます。

よろしくをお願いします。

いじめアンケート、教職員の指導に対するアンケート、学校評価アンケート等、ご協力いただきありがとうございました。今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。